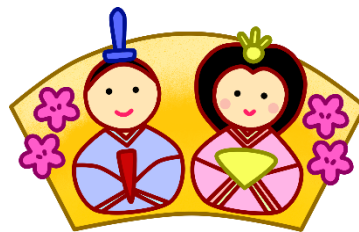


# コミスクだより



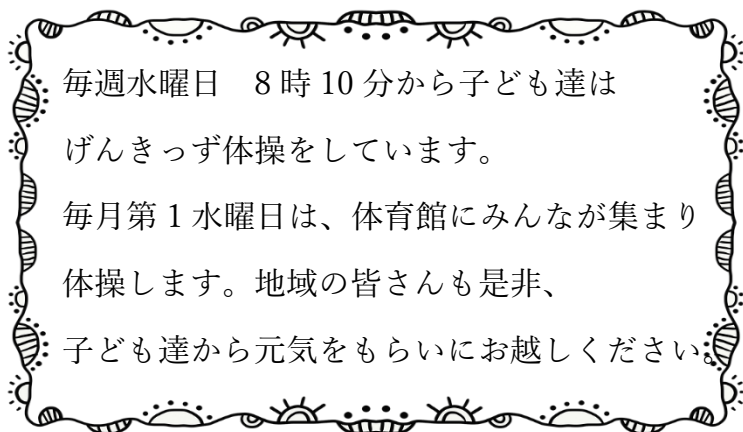
かほく市立七塚小学校  
校長 坂本 由紀子  
CN 澤野 真由美

## No.9



### かほく市長さんとげんきっず体操 2月6日(水)

地域にげんきっず体操を広めるにはどうしたらいいか？体育委員の子ども達が考えて、油野市長さんにも応援していただくとうと市役所にお問い合わせに行きました。市長さんに快諾いただき、2月6日(水)8時10分から保護者の方々や地域の方々にもお集まりいただき、みんなでげんきっず体操をしました。事前に体操のDVDをお渡ししていたのですが、市長さんは子ども達と動きがぴったりでした。その動きのキレの良さに一同びっくり！一番近くで体操していた1年生は「市長さんすごい！」と感激していました。市長さん ありがとうございます。



### 第4回学校運営協議会 2月13日(水)

今年度最後の学校運営協議会を行いました。PTA活動の様子や教職員の働き方改革、子ども達のネットルールやあいさつ運動などについて話し合い、来年度の活動につながる協議ができました。また、環境美化教育での文部科学大臣賞授賞を報告し、授賞式で披露された学校紹介のプレゼン画像を全員で視聴しました。





# かほく市学校運営推進協議会

2月26日(火)

高松産業文化センターにて、かほく市内小・中学校9校それぞれの校長先生と学校運営協議会委員さんと学校コーディネーターを含め64名が参加して、学校運営推進協議会が行われました。各校のこれまでの活動や取り組みについて情報を共有し、中学校校区3組に分かれて、意見の交換をしました。



## 河北台中校区3校での意見交換

- 3年間の進歩→各校が独自に考えるだけでなく、3校が共通で取り組む活動に発展してきている。
- 学校と地域の交流など、継続して中心に活動したり支えたりする人が必要。
- あいさつ協定を結んでいるが、小・中学校の子ども間のあるあいさつもあると良い。  
子どもからあいさつが無くても大人の方から継続して声かけをして欲しい。

地域として小・中学校が連携して子どもを育むための方向性などについて共に考えました。



## 5年生 家庭科 2月12日(火)、2月18日(月)

5年生が家庭科でミシンを使ってエプロン作りをしています。子ども達の中には初めてミシンを使う子もいるので、七塚生活学校の8名の方にミシンの使い方を教えていただきました。「アイロンをかけて、しつけ糸で縫って、ミシンは手をこう置いて…」と、ミシンの使い方だけでなく、丁寧にエプロンの仕上げまでサポートしていただきました。子ども達は素直に教えていただいて、活動後に感謝を伝えられた素敵な5年生でした。

